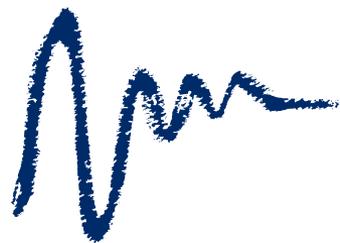


エムスリー株式会社

会社説明資料

2021年1月



本書には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本書の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

また、本書に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

エムスリー株式会社

2020年度第3四半期：連結業績サマリー

2020年度第3四半期 連結業績

IFRSベース

単位：百万円

	FY2019 Q1-Q3	FY2020 Q1-Q3	前年比
売上収益	96,319	123,750	+28%
営業利益	26,933	42,468	+58%
税引前利益	27,003	42,481	+57%
四半期利益	18,616	29,507	+59%

株式の売却、評価
などを除く事業面
だけで見ると、
前年比 **+72%**

 Q3 (3か月間) の株式の売却、評価などを除く事業面での対前年利益成長率は+87%とさらに加速

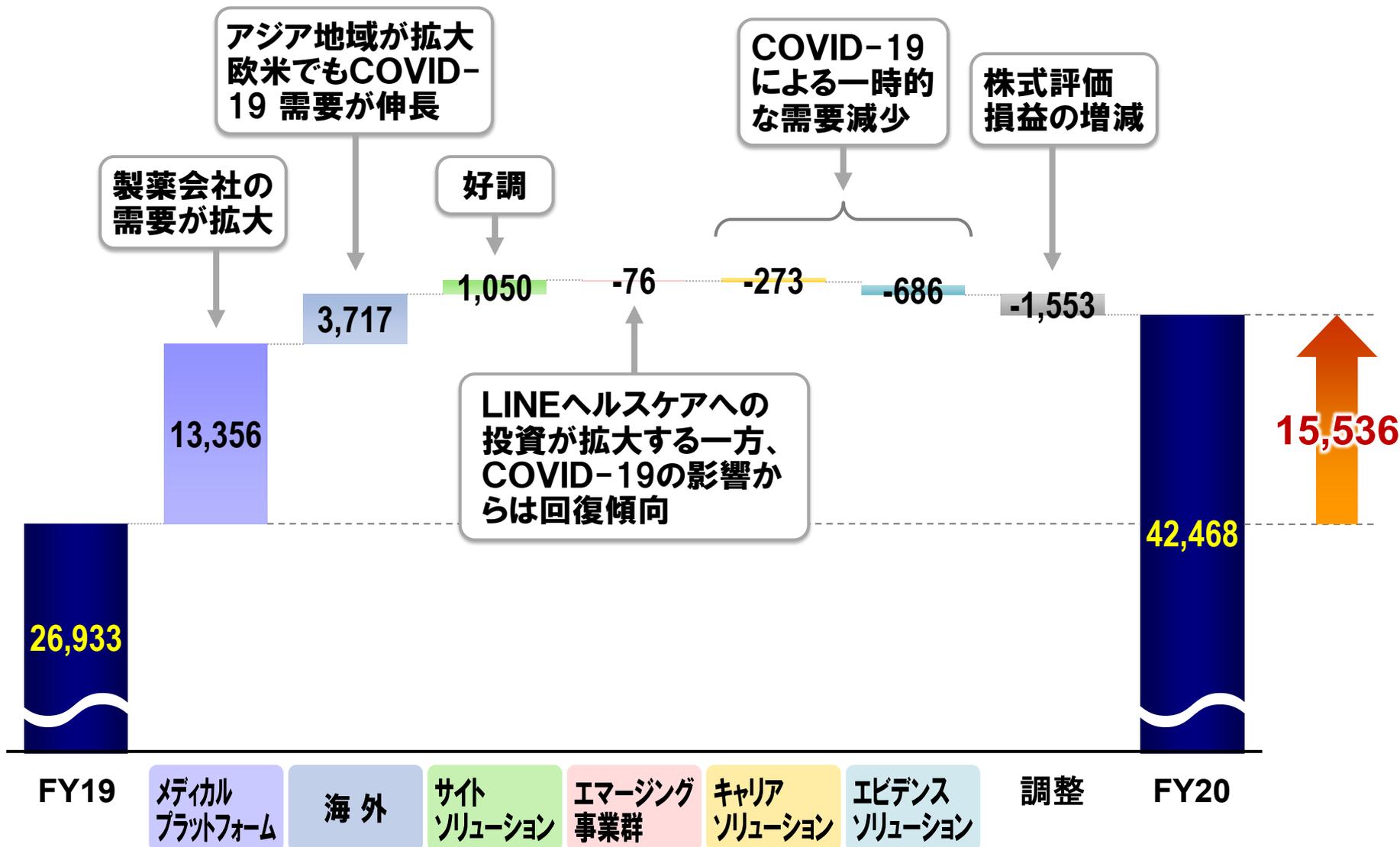
2020年度第3四半期 連結業績(セグメント別)

単位: 百万円

		FY2019 Q1-Q3	FY2020 Q1-Q3	前年比			
国内	メディカル プラットフォーム	売上収益	36,986	55,629	+50%	株式売却のインパクトなどを除いた利益は前年比108%増	
		利益	14,114	27,469	+95%		
	エビデンス ソリューション	売上収益	15,942	14,427	-10%	COVID-19による一時的な需要減少	
		利益	3,335	2,648	-21%		
	キャリア ソリューション	売上収益	12,018	10,965	-9%	Q2に続き好調	
		利益	3,626	3,353	-8%		
	サイト ソリューション	売上収益	8,678	12,530	+44%	回復傾向	
		利益	460	1,510	+228%		
	エマージング 事業群	売上収益	2,440	2,395	-2%	アジア地域と米国が好調	
		利益	794	718	-10%		
	海外		売上収益	22,160	29,814	+35%	
			利益	4,660	8,378	+80%	

2020年度第3四半期 連結営業利益増減分析

単位：百万円



2020年度 第3四半期サマリー

COVID-19
インパクト

メディカル プラットフォーム

- 製薬会社のDX構造変化が急速に進展中
- マーケティング支援以外の事業も復調

++

エビデンス ソリューション

- COVID-19により一部の治験が停止したが、受注残は225億円と堅調に推移

-

キャリア ソリューション

- COVID-19により医師、薬剤師の転職・派遣動向はやや低調

-

サイト ソリューション

- 提携施設は増加、COVID-19関連プロジェクトが増加、業績は引き続き好調

++

エマージング 事業群

- 新規ビジネスの種まきは順調
- LINEヘルスケアへの投資が拡大する一方、COVID-19の影響からは回復傾向

+
-

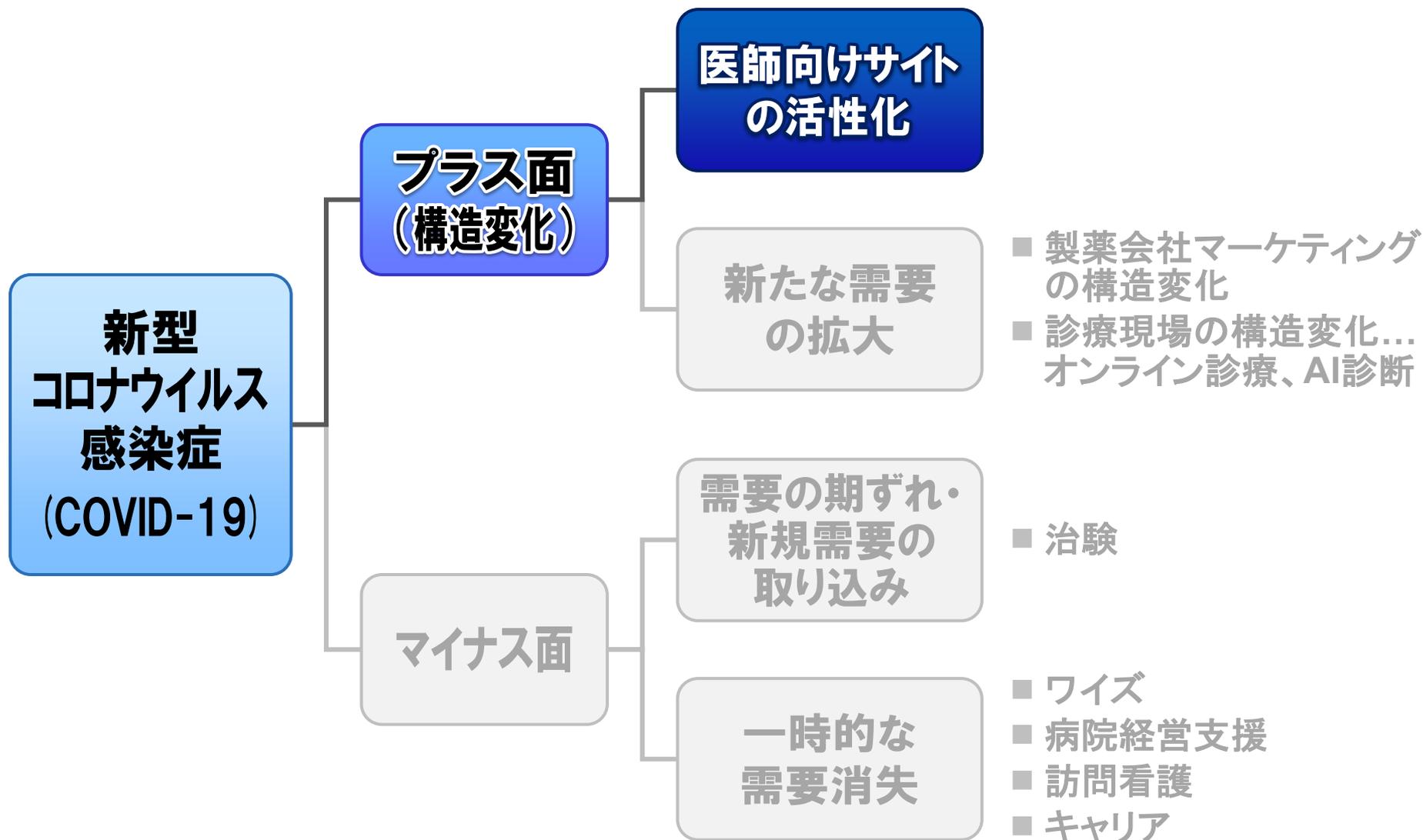
海外

- アジア中心に拡大(アジア売上前年同期比2倍超)、特にインドの成長が加速
- 米国治験事業が回復し、欧米も全般的に堅調に推移

++

COVID-19のM3への影響

COVID-19のM3への影響



m3.comへのサイトアクセス増大

COVID-19関連の情報提供



関連ニュースの集中
配信

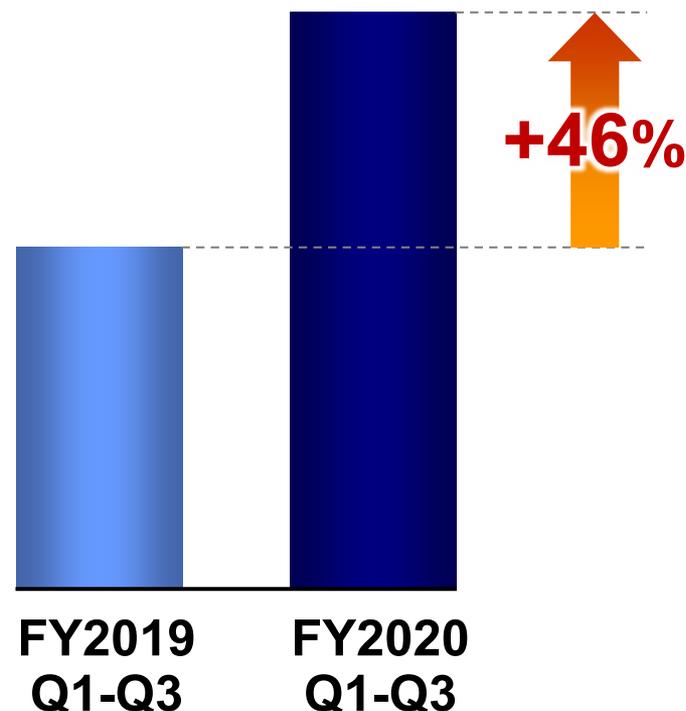


医師コミュニティ内での
積極的な情報交換



COVID-19診療に
関する専門家による
Webセミナー

m3.comのアクセス (前年比)



**👉 COVID-19以降急増したサイトアクセスは高い水準で定着
医療現場の情報インフラとしての重要性が高まっている**

製薬マーケティング事業の成長スピード

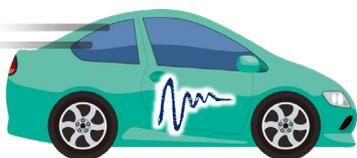
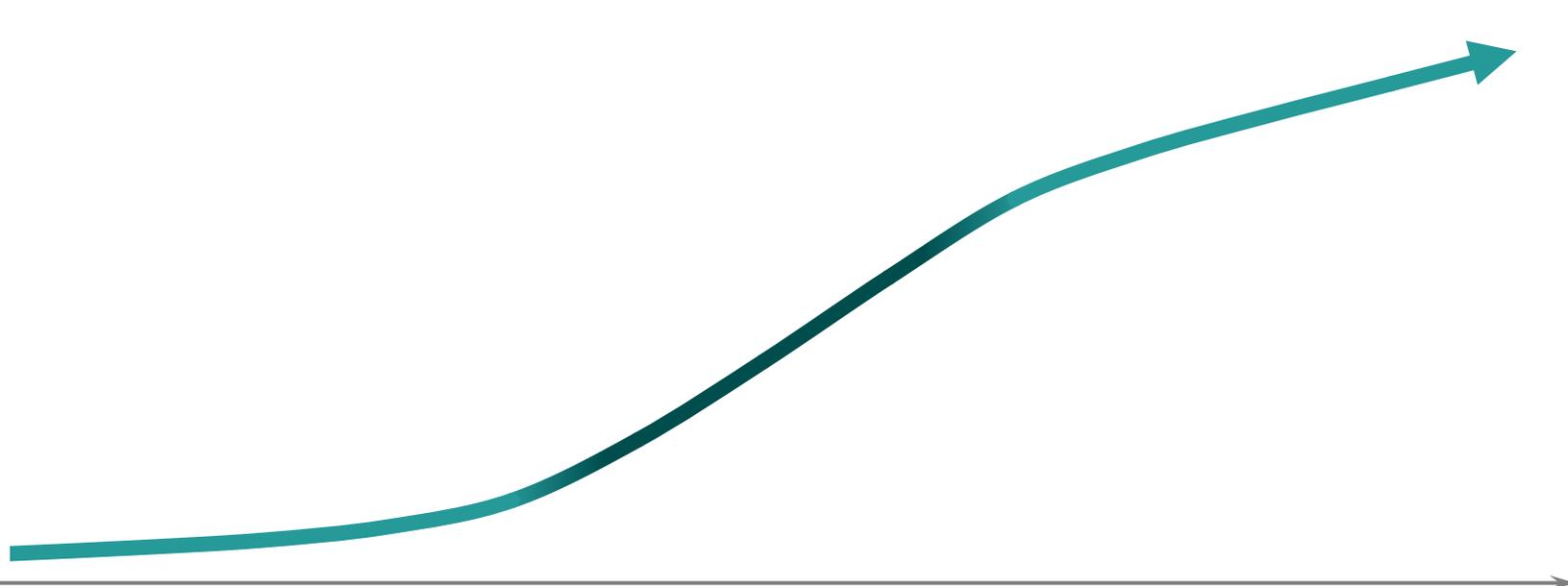
マーケティング支援

COVID-19
以前

COVID-19
感染拡大期

COVID-19
収束後

売上



100km/hr



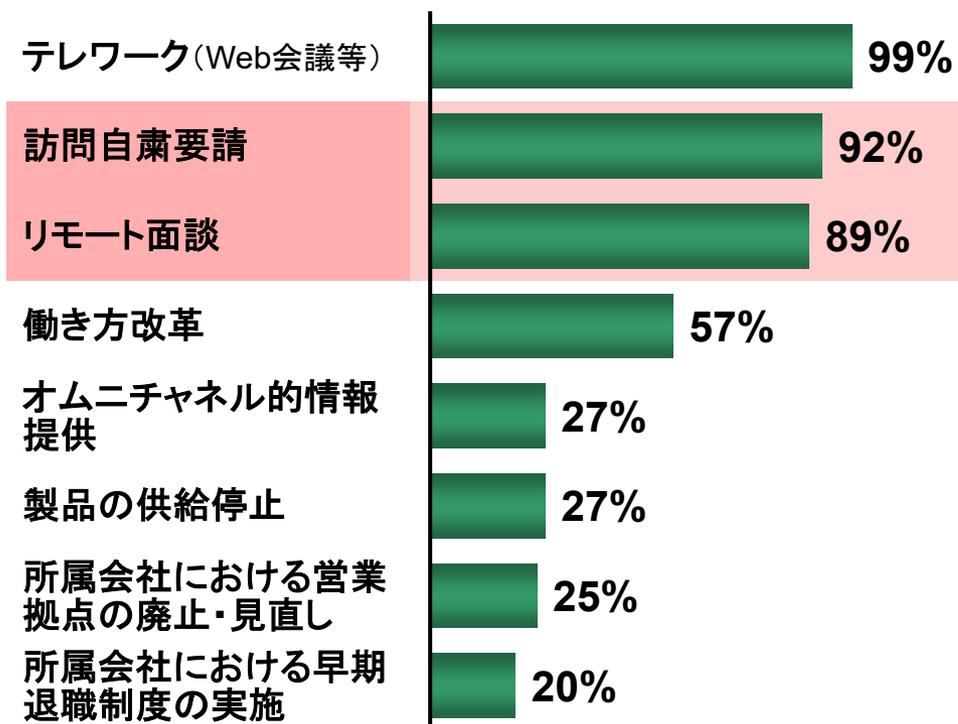
250km/hr



120km/hr

MRが経験したこの1年間の変化

回答者：製薬企業所属のMR
2020年11月実施、n=100



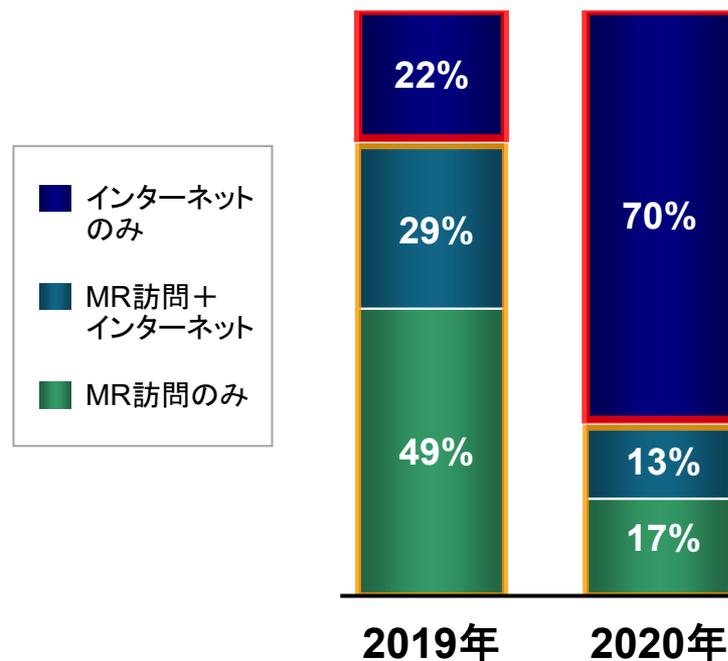
製薬業界ではDXが急激に進展中

資料：ミクス

医師と製薬企業のコンタクト数の内訳

製薬企業別の医師カバー率上位10社のチャンネル別医師カバー率から算出

■ いずれも5月～8月調査



100% = 医師と製薬企業の全コンタクト数

現状

今後

DX化により業界全体の
営業生産性は改善

MR関連費用など
…約1兆5,000億円

約98%

インターネット
…約300億円

M3シェア: 8~9割

約2%

約70
~80%

MR関連費用
…約7~8,000億円

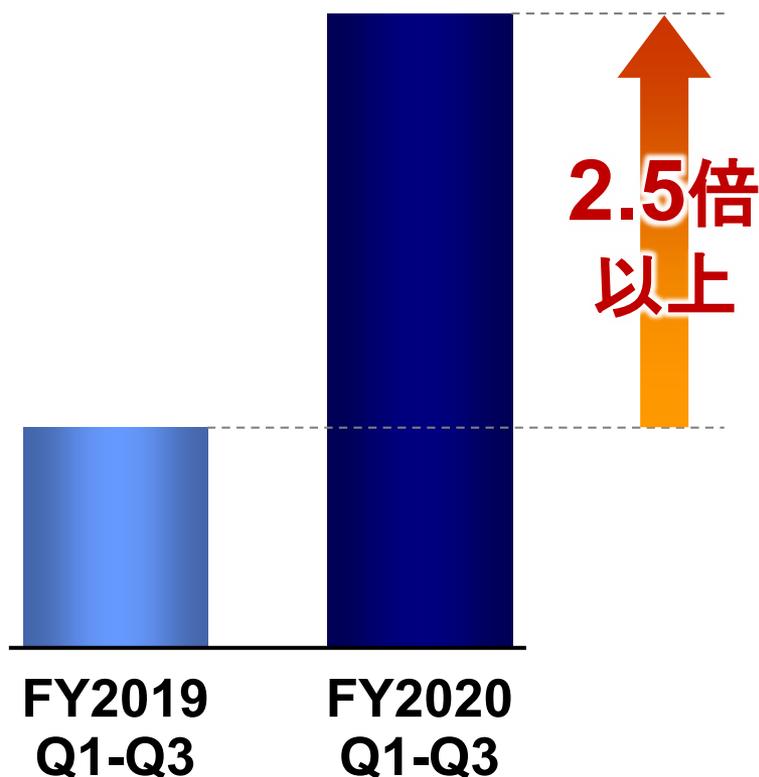
インターネット
…約2~3,000億円

M3シェア: 8~9割

約20
~30%

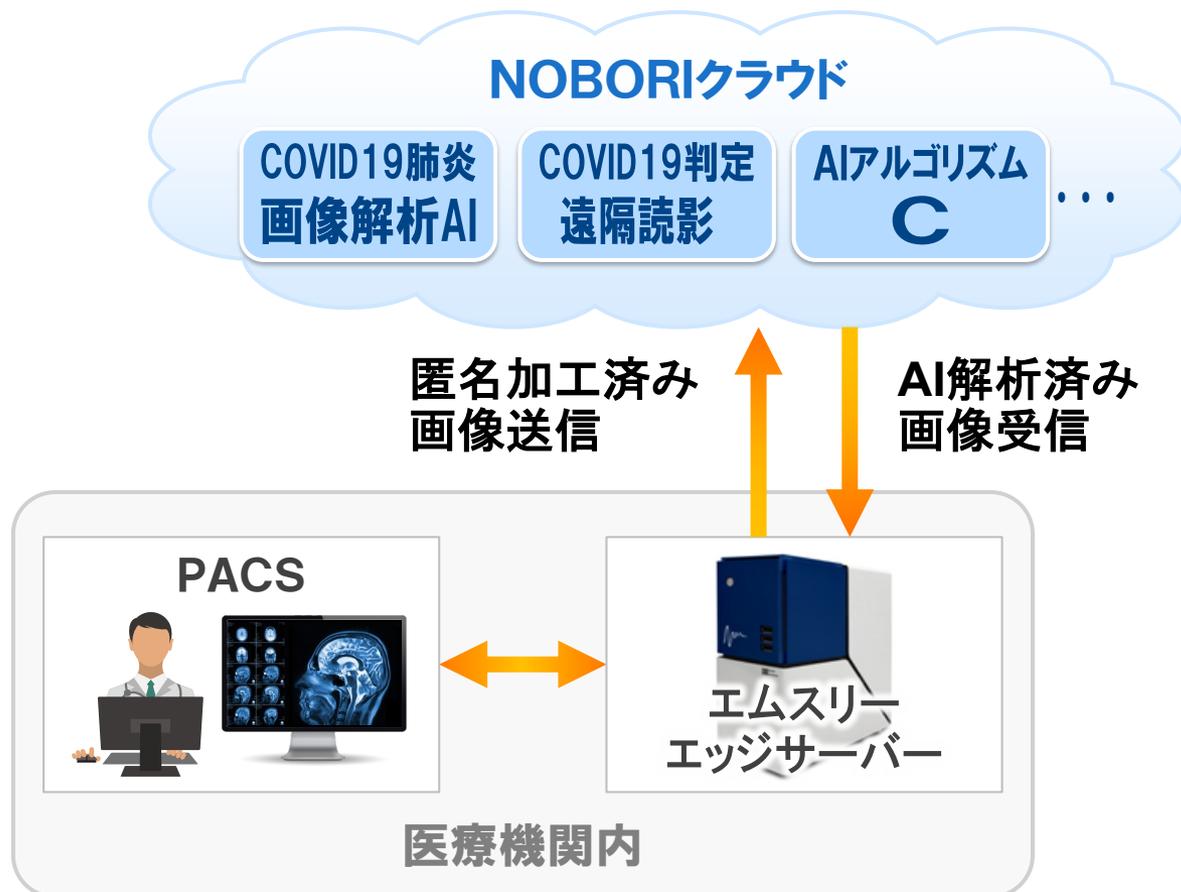
MR関連費用を含む製薬企業の営業コストの大幅縮小と同時に、インターネットの割合が拡大する見込み

製薬マーケティング支援 受注金額



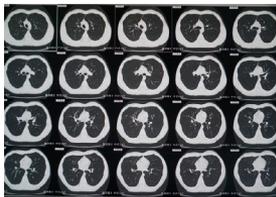
- COVID-19の感染拡大に伴い、製薬会社からの需要が急増
- 人員の拡大&プロジェクトも大型化（外部リソースも活用し、営業&デリバリーチームは前年比で+115%の体制）

 受注ペースは高い水準を継続。製薬会社のDXがより本格化



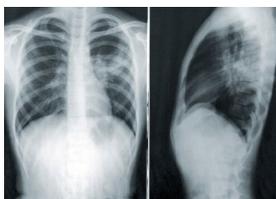
- 医療クラウドサービスを提供する株式会社NOBORIと事業提携
- 多様な画像診断支援AIアルゴリズムを搭載し、PACS(医療用画像管理システム)の制約を受けることなく利用可能
- 部位(頭部、肺、心臓、など)ごとに複数のアルゴリズムを予定

👉 COVID-19肺炎AIと遠隔読影サービスの無償支援の拡大、全国121の医療機関に無償提供予定



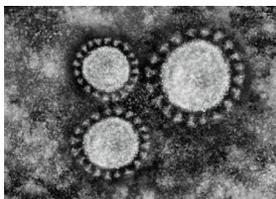
結節影

VUNO Med[®]-LungCT
by VUNO[®]



肺結節

EIRL Chest nodule
by LPIXEL



COVID-19肺炎

Ali-M3
by Alibaba & M3, Inc.



脳動脈瘤

EIRL aneurysm
by LPIXEL

👉 順次アルゴリズムをAIプラットフォームに搭載

AIプロジェクトの進展 (1/2)

AI

企業		疾患領域	M3提供サービス					
			医療データ 収集	アルゴリズム 開発	薬事戦略	臨床研究・ 治験	販売促進	資金
M3 主導	M3	呼吸器	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	M3	糖尿病性網膜症	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	M3	重症骨粗鬆症	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	M3	海外医療機関	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	M3	COVID-19	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	M3	肺がん	✓	✓	✓			
他社 主導	海外	AIベンチャー	甲状腺エコー					✓
		AIベンチャー	放射線診断		✓			
		AIベンチャー	冠動脈		✓			
		AIベンチャー	冠動脈		✓			
		AIベンチャー	胸部X線、胸部CT、眼底			✓		✓
		AIベンチャー	マンモグラフィ	✓				
		AIベンチャー	マンモグラフィ			✓	✓	✓
		AIベンチャー	眼底カメラ			✓	✓	✓
		AIベンチャー	胸部X線、胸部CT			✓	✓	✓
		AIベンチャー	胸部X線					✓
		AIベンチャー	胸部X線、胸部CT			✓	✓	✓
		AIベンチャー	眼底検査					✓
		AIベンチャー	胸部X線、頭部CT			✓	✓	✓
		AIベンチャー	腹部CT			✓	✓	✓
大手医療機器	胸部CT					✓		

AIプロジェクトの進展 (2/2)

		M3提供サービス					
企業	疾患領域	医療データ 収集	アルゴリズム 開発	薬事戦略	臨床研究・ 治験	販売促進	資金
他社主導 国内	AIベンチャー	インフルエンザ	✓			✓	
	AIベンチャー	未破裂脳動脈瘤	✓				
	AIベンチャー	不眠症	✓				✓
	アカデミア	呼吸器		✓			
	AIベンチャー	消化器			✓		✓
	大手医療機器	眼底検査			✓		
	大手医療機器	外科/消化器	✓		✓	✓	
	AIベンチャー	認知症					✓
	AIベンチャー	胸部X線透視動画				✓	
	AIベンチャー	病理					✓
	AIベンチャー	循環器	✓		✓		
	大手医療機器	PACS連動					✓
	大手医療機器	胸部X線/胸部CT			✓		
	大手医療機器	内視鏡検査	✓		✓	✓	
	AIベンチャー	内視鏡検査			✓		
	AIベンチャー	頭部MRI、胸部X線、胸部CT、マンモ					✓
	AIベンチャー	循環器	✓		✓		
	大手医療機器	胸部CT					✓
	アカデミア	間質性肺炎		✓			
	大手医療機器	頭部CT					✓
	AIベンチャー	レポート					✓
大手医療機器	内視鏡検査	✓				✓	
大手医療機器	頭部MRI、腹部CT			✓	✓	✓	

 累計45の開発支援プロジェクト。AIプラットフォームはローンチ済み

COVID関連治験 受注案件 一部紹介

moderna

ワクチン



ワクチン



ワクチン

REGENERON

治療薬

NOVAVAX

ワクチン



治療薬



ワクチン

medicago

ワクチン

⋮

- COVID-19関連
治験受注額：
数十億円規模
- 受注増加に加え、
既存プロジェクトも
拡大中

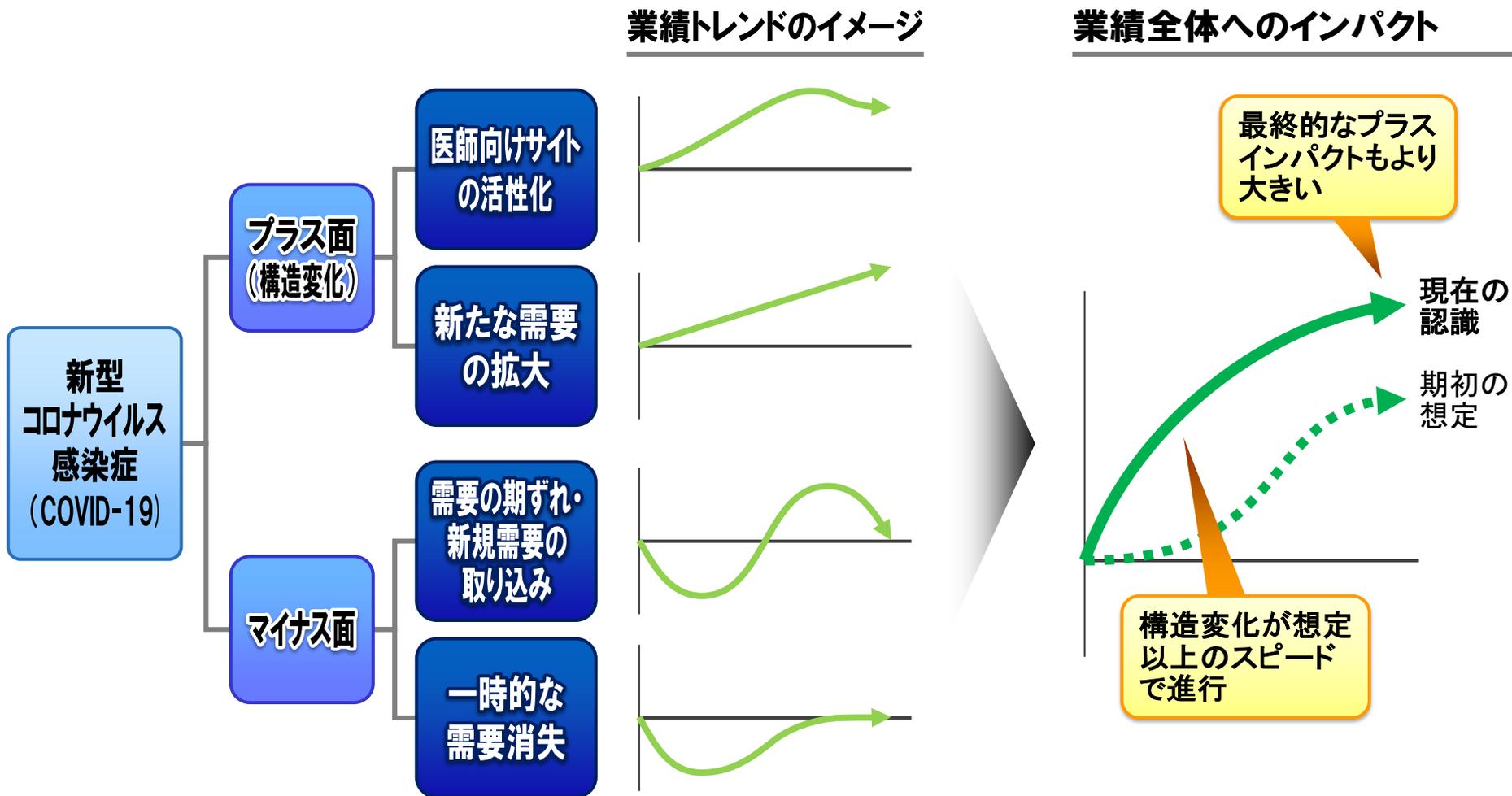
 施設や専門分野の拡大により、COVID関連以外のパイプラインも
堅調



- 首都圏の一部施設からオンライン診療を開始済み
- 上記施設をモデルケースとして課題収集、PDCAを実施
- LINEのキャラクター「ブラウン」をクリニック向けスターターキットにて起用

**👉 日常感・安心感あるオンライン診療を実現
春より大規模に拡大予定**

成長ペースの変化予想（平時を起点としたイメージ）



全体的に、短期的にはニュートラル、中長期的には構造変化が進み大きくプラスと想定していたが、実際は想定以上のレベルで推移

M3の成長戦略

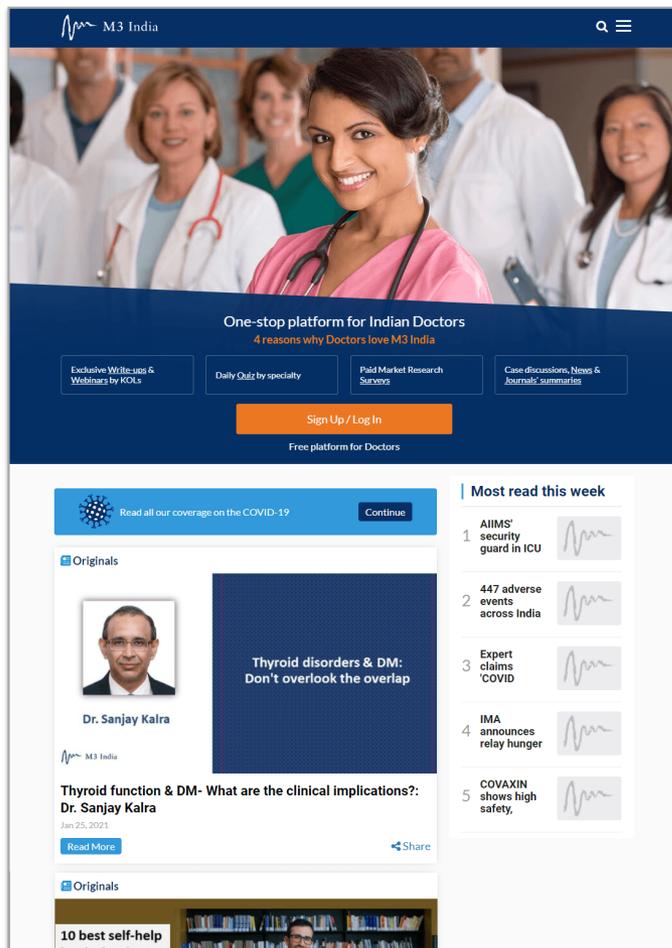
事業領域の拡大と成長ポテンシャル

	2010	2014	2018	2022
国	: 3	→ 5 (1.5倍)	→ 10 (3倍)	→
事業 タイプ数	: 6	→ 10 (1.5倍)	→ 26 (4倍)	→
展開事業数 (タイプ×国)	: 10	→ 18 (2倍)	→ 41 (4倍)	→
売上 (億円)	: 140	→ 370 (2.5倍)	→ 945 (7倍)	→

次の4年間
も従来の
成長スピード
を継続する
予定

👉 現在の10～20倍以上ある成長ポテンシャルを実現するため、
M&Aも含め積極的な先行投資を継続していく方針

インドでの事業展開



- M3 Indiaを基盤として重層的に事業を展開。約45万人の医師（インド医師の約半分）とコンタクト可能
- COVID-19の影響もあり、製薬マーケティング事業、調査事業、医師向けeラーニング事業の各事業が好調
- 利益率の高いインターネット系サービスが主。利益率は米国や欧州よりも高い

 国別増益額は、中国を越して、アジアでは一番伸長

製薬以外との協業

企業

SONY

連携企業のアセット

- 多様な技術
…PS5、AI、VR、
センシング

シナジーのあるM3サービス

医療現場に感動をもたらす
新サービスの開発

NTT docomo
(empheal)

- 幅広い企業との
ネットワーク
(顧客基盤)

企業の健康経営支援事業
の展開

LINE
(LHC)

- 月間8,000万人の
アクティブユーザー

唯一無二のオンライン診療
プラットフォームの構築

 M3のエコシステムは社外にも拡大していく

ソニーとの協業

SONY

M3, Inc.

2020年12月14日

ソニー株式会社
エムスリー株式会社

ソニーとエムスリー

医療・ヘルスケア領域におけるオープンイノベーションの取り組み
「COMPASS Project (コンパスプロジェクト)」を開始

ソニー株式会社 (以下、ソニー) とエムスリー株式会社 (以下、エムスリー) は、医療・ヘルスケア領域におけるオープンイノベーションの取り組み「COMPASS Project (コンパスプロジェクト)」を開始します。



COMPASS Project

Collaborative Medical Practice Advancement
for Social Solutions

SONY

M3, Inc.

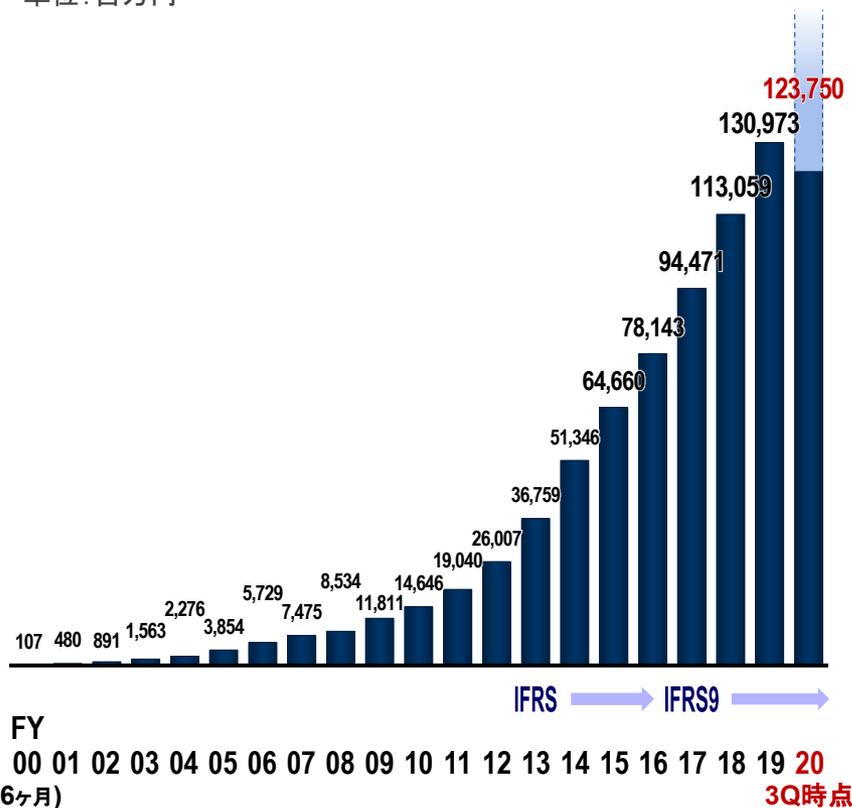
COMPASSプロジェクト

- 2020年12月14日にプレスリリースを行った、ソニーとM3の協業プロジェクト
- COVID-19対策への寄付
- ソニーの技術を活用した医療事業の創出
- 医師からのアイデア募集や協業研究など、オープンイノベーションの取り組みも

M3の業績推移

売上収益

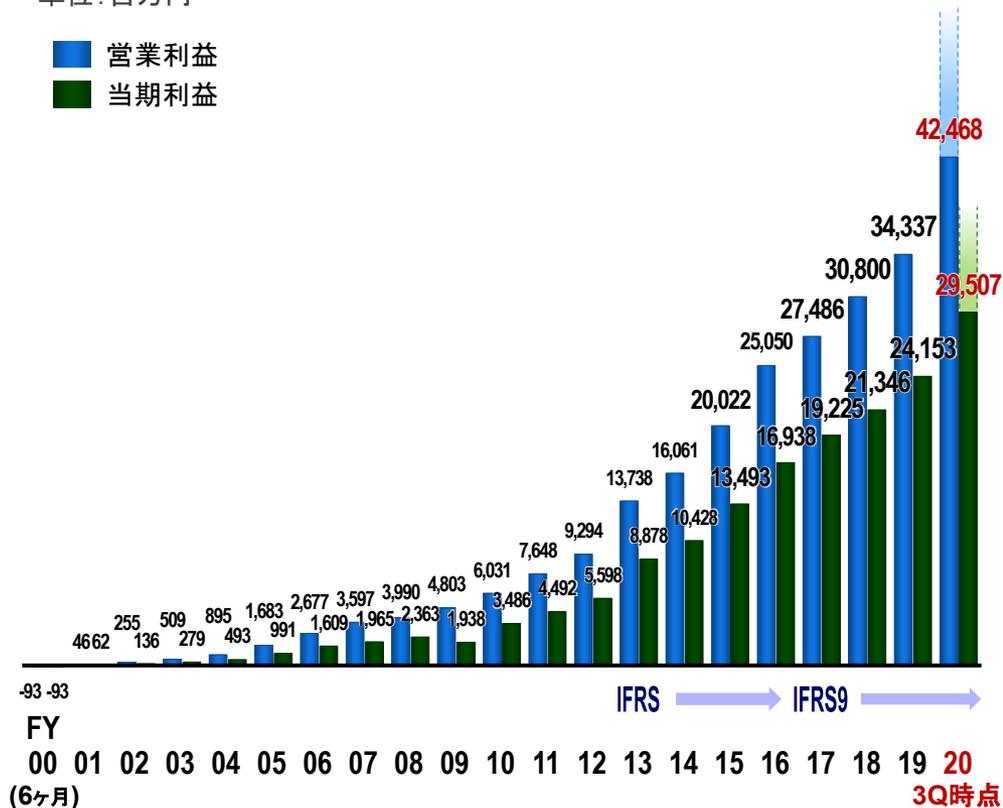
単位: 百万円



営業利益・当期利益

単位: 百万円

■ 営業利益
■ 当期利益



変動要素が多いため予想は未定としたが、3Qで既に売上収益は去年とほぼ同水準、営業利益面では既に24%超過

* IFRS9号(金融商品)の適用にあわせ、FY17実績をリステート